

2009年度版「環境・社会報告書 Sustainability Report - 」の発行

今般、「環境・社会報告書 Sustainability Report - 2009」を発行する運びとなりました。「アニュアルレポート 2009」(9月上旬発行済)と併せて、「環境・社会・経済」をカバーする“CSR報告書”としてご覧ください。

本年度版の主な特徴と内容は下記の通りです。

1. 社長の「トップステートメント」のなかで、2050年に向けた環境・エネルギーの取組み、技術先進性を生み出す現場力と製造実力、グローバル・プレーヤーとして地球環境問題に貢献していくことについて述べました。
2. 「地球環境問題に挑むグローバル・プレーヤー、新日鉄」という特集記事を組み、環境・エネルギーに関する代表的な6つの取組みとその効果について判り易く紹介しました。
自主行動計画の取組み、グローバル・セクトラル・アプローチの推進、温暖化防止への革新的な技術開発、資源循環に資する製鉄プロセス、鉄鋼製品を通じた環境負荷低減、環境保全と生物多様性の取組み
3. 新日鉄グループの各事業セグメント会社の、環境ソリューションの先端的な取組みを判り易く紹介しました。
4. 基本報告を、「マネジメント体制」、「環境報告」、「社会性報告」の3部構成としました。
 - (1) 「マネジメント体制」のなかで、コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスに加えて、生産・研究開発体制に関する重要な課題に対する具体的な取り組みとして、製造実力向上委員会の取組みについて記載しました。
 - (2) 「環境報告」のなかで、地球温暖化対策、循環型社会の構築、環境リスクマネジメント、環境・防災マネジメント、環境・エネルギーソリューションの推進について報告しました。
新日鉄グループとして2008年度のエネルギー消費量は対1990年度比14.2%削減、CO₂排出量は同15.1%削減の63.5百万トンとなりました。昨年同様、関連電炉会社等5社を含むグループとして報告を行っています。
2008年度の環境保全コストは、廃水処理対策、大気汚染防止策としての粉じん対策の強化や、副産物のリサイクルを進めた結果、合計で58.4億円と昨年(55.1億円)より増加しました。
 - (3) 「社会性報告」のなかで、様々なステークホルダー(利害関係者)に対する活動の記載を充実させ今後の方針を記載しました。
株主・投資家の皆様とともに・・・個人株主説明会・製鉄所見学会、情報発信の充実、当社株主構成など
お客様・調達先の皆様とともに・・・品質保証・品質管理、サプライチェーンマネジメント、原料調達先(豪州)との関係強化など
従業員とともに・・・人材育成・人事処遇、次世代支援やシニア雇用制度、労働安全衛生マネジメントシステムなど
地域社会とともに・・・郷土の森づくり(1)東海市21世紀の森づくり、(2)北九州市響灘の植樹祭
未来を担う子どもたち・学生とともに・・・たたら製鉄実験、環境教育、インターンシップ
社外団体・NGOとともに、さまざまなコミュニケーション活動、社外からの表彰、など

3. その他

- (1) 表紙及び中扉のデザインは、当社が鉄鋼業という動脈産業でありながら、同時にリサイクルという静脈産業の役割も果たして地球環境対策に貢献していくことを、様々なカラー写真を用いて表現しています。
- (2) 環境・社会データ集をWEB掲載として、ページ数を12ページ削減し、スリム化しました。
- (3) 4名の有識者によるステークホルダー・ダイアログを行い、結果を第三者意見として掲載しました。
- (4) 昨年同様、国内林業の活性化と地球温暖化対策を意識して、国産間伐紙を使用しています。

*発行予定部数は2万3千部。当社のホームページを通じて公開。英語版は11月初旬目処に完成予定。

*当社ホームページ(「環境経営」) <http://www.nsc.co.jp/eco/report/index.html>

(本件に関する問い合わせ先) 新日本製鐵株式会社

環境部 能勢(のせ) TEL 080-5886-7283

篠上(しのがみ) TEL 080-5886-7284

以上